

はじめに

京都市長

門川 大作



永年にわたり、社会や地域のために尽くし、幾多の困難を乗り越えられてきた高齢者の皆様が、住みなれた地域でいきいきと健やかに暮らすことができる「健康長寿のまち・京都」の実現に向けて、京都市では、「第5期京都市民長寿すこやかプラン」を策定いたしました。

本プランは、市民の皆様と京都の未来像を描いた「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」（平成22年12月策定）を、高齢者保健福祉の分野で具体化するもので、施策を総合的に推進し、高齢者の尊厳が保たれ、高齢者が幸せに暮らせる社会を構築するための様々な方策を示しています。

東日本大震災以降、地域が絆を深め、力を合わせて生きることの大切さが見直されています。京都は、過去幾多の困難を、人々が知恵と力を結集することで乗り越えてまいりました。私は、そうした京都の地域力がますます重要になっていくと確信いたします。

本プランでは、京都の地域力をいかした見守りネットワークや医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「京都市版地域包括ケアシステム」の構築に向けて取り組み、地域全体で支え合う福祉のまちづくりを進めることとしています。

本市ではこれからも、市民の皆様としっかりと手を携え、地域の特性をいかした支え合いの活動を育み、地域の絆を深め、「京都に住んでいて良かった」と心から実感していただけるまちづくりを全力で進めてまいります。引き続き、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、本プラン策定に多大な御協力をいただきました京都市民長寿すこやかプラン推進協議会委員の皆様、パブリックコメントなどを通じて貴重な御意見・御提言をお寄せくださいましたすべての皆様に、心から御礼申し上げます。

平成24年3月